打

量帝陛下御差遣の張侍從武官

は川島陸務縣長帶同滿洲視察門司税関支部長沼田龍太郎氏

門司稅關支部長

虎林方面巡閱

張侍從武官

の康でサンアントアンヌ刑務氏を訪問聯盟總會の議事妨害 所に假收容されたイタリ

日本船糧放を厳談せし

ユーゼッベ・モッタ

別議の結果國際關係を考慮、 組長の名を以て退去命令を設 した

で來京する

事生事

で來京するが新京の日程は未のため四日午後九時着ひかり

ルン駐割イ

【ジュネーヴ一日愛國通】ペ

関丸をも領海侵入として拿捕 治障をおこし漂流中の第一海 岸に於ても同様優勝中機関に 東海

0

も拿捕、三隻とも 心途中濱吉丸(第一海 の途中濱吉丸(第一海

騙逐體を特派した上に多数の備のため特に浦鹽より二隻の

霧期間の故障等の不可抗力を

端を物語るも

聯盟總會を騷が

も容赦せず領海侵犯の嫌疑を

國記者を追放

刑法の條項は適用せず

日本の北海漁等権に徹底的打

四十六號)も拿捕、

书订 Ξ 月 H 發行所

を要求す

チチハ ル條約の効力が問題化す

られたいと要求した。右要求に關聯し一九一二年の十二、本國政府の訓令に基き輸洲里附近國境地帶に於てソ國營、本國政府の訓令に基き輸洲里附近國境地帶に於てソ國營、本國政府の訓令に基き輸洲里附近國境地帶に於てソ國營 コフ氏と痛烈な論戦を闘はした 関境等闘達呼よりアパガイトに至る関境及びアルグン 関境等闘達呼よりアパガイトに至る関境及びアルグン 関境等闘達呼よりアパガイトに至る関境及びアルグン 月露支雨興政府間に締結されたチチハル條約により露

量拿捕

害

然認めざる為我方としては支 | 件發生地たる青島へ向つた、のとりたる越軌行為の非を全 は二日田帆の大連丸で急遽事件につき支那側税闘は監視船 瞭にするため堀内一等書記官 | 上海二日發國通」茂益丸事 | 那側の不供事實をより一層明

徹底的糺朗がなされる筈 闘側の責任回避の態度につき

記官靑島

ルピンに向つた、張侍從武官三日午前九時十分競列車でハ

八田大使ソ聯政府に嚴談 に神戸國通)第十一及び第十二回國際勞働會議總會使用者 一二回國際勞働會議總會使用者 一二回國際勞働會議總會使用者

三非物陸船舶部海務係

三非物產船舶部長三非物產船舶部長

【南京二日發國通』獨支一億 外交部に鎮相問ひ合せ中であ つたが、二日亜洲司長高宗武 氏より左の如く正式回答があ せるも未だ實行し居らず級人の場を間には約一年前バータ 製立多

等關係ないと云つてゐる

糺明

經由十四日厨京の筈であるに向ひ締路は富錦、ハルピンより飛行機で虎林 **形中將一行**

下限着同夜出帆の腸釜連絡船 ド以下三十名は二日午後九時 ・ 日本各地を襲察した那士康中

二日夜下開發

國際勞働會議

使用者側

支借欵

は

兵器借欵でな

南京亞洲司長が否認ー

約内容は支那より原料品を がイッよりは主として機械 がことになつてゐるが兵器 ることになつてゐるが兵器 は該品目中に含まれてゐな は該品目中に含まれてゐな

酒

山中 清蔵 小野 健

市民の

8 ら競送されること」なった、 第一回分は峰布區、品川區、 中野區の三區分三萬三千偶で ある

二戰死者原籍地

大学 11 人名 1 10

乳

彼の意に起っつこ (百十五)

蘇 あ £ 清上映) 3 P 久 之

たに事大事

のでするからいか、それは非常にした。 でするないのですが、しかし音々のです。 すからに造ぜものないのです。からとことはでのは、 をするないのですが、しかし音々のです。 すからに造ぜものないのです。 がひそんであるかだいのです。 がひそんであるかだないのです。 のですがいないのです。 からのが一番がないのです。 からい意味のなが不平をいふことはでの位その でのないのです。 がなそんであるかだないのです。 のですがないのです。 のですがないのです。 のですがないのです。 からい意味のなが不平をいふことは一句であるかだない。 をいれまでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるではないのです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のでない。 のでな。 のでない。 のでない。 のでない。 のでない。 のでない。 のでな。 のでない。 のでな。 のでな。 のでな。 のでな、 のでな。 のでな。 のでな。 のでな。 ので。 のでな。 ので 族同士の公判にはさうしたこ きいて驚いたことが幾度もあ私達も機関の中で被告の話を 『成る程、言語の通じない民 口助

堂

T

產

野院

電(3)話五五一一

工

電電

話 金

3

荻 小香地 買

電大器

店

急

あ

保護人を要す 保護人を要す 関南大路三〇二番 三共商事印刷部

機ごなって、あなたがさうし、質の能には再び血が上った境が上った第さんが直接の動

10 > 11 C D II

美女給數 扇芳亭グリ 數名採用 震器(ミン一八五八番

新京七馬路永康莊一〇三號

* STATE

急

本る七日十日より晴天三日間素人角力大倉實施の沿め諸本る七日十日より晴天三日間素人角力大倉實施の沿め諸本る七日十日より晴天三日間素人角力大倉實施の沿め諸

新京素人角力俱樂部

與安大路永安街電話2一九八八 明 **販製** 賣部

数名募 て優遇す 近日完成 P

置新 0

1 (2)

Ξ

七



天皇陛下陸軍士官

内では早くも山崎理事の再任 別補了となり慣例に從へば何 れも退任することとなるが紅 れも退任することとなるが紅 任期満了の 滿鐵三理事 後任下馬評

を懇望せる願書が提出された の記載に對し山崎理事の再任

る重役として社員の信任厚くについては社員出身の傑出せ

ないかとみ

展看力観される の、同氏の身任が の、同氏の身任が を行はしめんと の、同氏の身任が



白も對抗に决定

法關稅に

今や四面楚歌の狀態に陷る

待遇を停止する事となつた。 的通商協定法に基き八月一日 のに對し、一九三四年の相互

人物でない限り深い考へは起さかれてなりなり深い考へは起して あるんですからね、餘程偉い な 一般では服して らない は、もさの冷鬱さにかへいやうですね。

ないさ思ひます。ですからなは今しばらく自分の称としてもは疾病の一陣空にしかなれないさ思ひます。ですからなは今しばらく自分の羽襲をなたは郷兄のために衛のために衛のとしました。 日写冷飲を以て自らほこつ であるやうな彼であったが。 今度の出來事から彼は極度の 会度の出來事から彼は極度の はない。 そして彼の思 はない。 をして彼の思 はない。 をして彼の思 はない。 として彼の思 "それて"

暫く自重してさい

4

1:0

B前虫鉄理事 同七時内 時土分へルピソへ 日本 本石村長七氏(奉天備道事務 本石村長七氏(奉天備道事務 所長)同率天へ 所長)同率天へ 所長)同率天へ 一本部蔵氏(中央銀行)同 本三澤糾氏(哈市學院長) 東京へ な人にも検事かやつてゐるも のもありまずが、あの仕事も 競分厄介な仕事らしいのです な、機能な商倒な事件をウン なのでするな事件をウン

です?』
「勿論、口になにその異論を
のやうな一県究では到底でん
のやうな一県究では到底でん
な代事はできないのです。現在
な代事はできないのですが、ここ 自然です。では將來、ごうした氣持になられるここは甚だ てそれをおやりになるつもり 東京娘

| 員數名募集希望者本人來談要保證 新發屯

店

築轉廿日頃出強赴任の豫定で 佐一日附晃鐵守府加古艦長に 佐は昭和九年九月一日藤森大 満海電部参謀長大島乾四郎氏 佐は昭和九年九月一日藤森大 満海電部参謀長大島乾四郎氏 佐は昭和九年九月一日藤森大 満海電部参謀長大島乾四郎氏 佐することになつた、大島大 が悪任十五日着 の本義院大佐が繋任十五日着

加藤哲之助氏で勝目は左の知 京する豫定である。指揮者は で出發費間は衛戍病院夜は部

知 百貨店臭服部で店員の見てる 現はれた、三笠町七丁目二番 加 百貨店臭服部で店員の見てる 現はれた、三笠町七丁目二番 地金瓊子婆金敬子(二四)と いひ連日この若妻を調べてる るが彼女の申立てに不信な貼 があり尚追及すると彼女は物 があり尚追及すると彼女は物 がありおうこう

一十日頃出發

西公園で催された。陽東軍 西公園で催された。陽東軍 断競表の夕。に演奏各方面の 総護を博してゐるが五日には 公主債地方事務所主催本社後 公主債地方事務所主催本社後 が発表の夕。を健すこと」なつ

夫の愛を試すため

萬引を働く

▲第二部 一満銭行進曲、二 四種と殿標、五港軍、六國 歌行進曲 三箱根の山 三箱根の山 三箱根の山

君が代、三講洲國々歌 ・ 三部 一関東軍令歌、二 整 六立派な兵職 を 六立派な兵職 を 六立派な兵職

本社の後援で

五日公主領へ

後任鈴

木桑謀長十五日着任

麻薬中毒者の救濟は

言察に收容治療

見込みない

を進めてゐるが同樹壺祭に動祭を執行することいなり準備祭を執行することいなり準備のないの墓大なる慰靈のないの墓大なる慰霊のないのでは十二日管内にいる。

開 ことゝなつてゐる と とゝなつてゐる に し花輪供物等を寄贈される向

対で貸與する には次の物品を 対で貸與する

の夏は連山關

本日死刑執行

ハウス」使

| 「東京関通至急報」永田中將殺害事件の被告元陸軍步兵中佐相澤三郎は、去る六月 | 北京関通至急報」永田中將殺害事件の被告元陸軍歩兵中佐相澤三郎は、去る六月 | 東京関通至急報」永田中將殺害事件の被告元陸軍歩兵中佐相澤三郎は、去る六月

行せられたり 確定を見たる元歩兵中佐 相澤三郎は本三日 そ

パウスの準備なる

山安も懸念なし

運賃も割引

がに往復運賃の割引率を次 並びに往復運賃の割引率を次

一日一山

な 付貸付もなす 増加 準備 の外に左

一、貸付期間 七月四日一九一、貸付期間 七月四日一九一、等級及び割引率 同一「サンマ・・ハウス」使用の二人以上に限り各等往復の二人以上に限り各等往復別で変には次の物品を備へ付け無料で貸與する かっメドシュッ 一般 フッタドシュッ 一般 フッタドシュッ 一枚 ラッタドシュッ 一枚 ラッタドシュッ 一枚

新京警備

満鐵ブラ

ス

バ

皇軍慰問演

十二日慰靈祭

炭疽病新京を襲ふ **乗用馬車馬に豫防注射實施** 一頭斃死

馬車馬を東廣場(東五條通り)に集め豫防注射を實施してゐる。染を慶れ早速三日午前十一時から首都警察署と協力して首都乘用馬車組合の因は家畜に最も恐ろしい炭疽病と確診され、市公署衛生科では他の牛馬に傳死し更にあと一頭も容態が怪しいので隔離してゐる。病馬廠で檢視の結果死寛城子に居住するロシア人某が飼育せる四頭の牛のうち二頭まで一日午後斃

特は各方面から情重れてある。 大上洋 本田、濱田二代の司令官に仕 本名縁謀長として飯腕を振はは夏季二ヶ月間惣英部を休業 は夏季二ヶ月間惣英部を休業 お京日本橋 は夏季二ヶ月間惣英部を休業 思のむしても豪放磊落軍 アイスケリトム、みつまめ。 新京日本橋 は夏季二ヶ月間惣英部を休業 思い切

丙馬廠、市公署、首都警察必死の防疫 つやの氷物

ラト共他格安ものが山積され ・ 本絹、 平紹、 組縮緬、 ジーゼ ・ 本絹、 平紹、 組縮緬、 ジーゼ ・ 一様均一大質田し中であるが ・ 一様均一大質田し中であるが ・ 一様的一大質田し中であるが ・ 一様的一大質田し中であるが ・ 一様的一大質田し中であるが ・ 一様的一大質田し中であるが 市内日本権通りの金 東洋行では目下大連 即置倉を催してゐる

七日公會常治上會議会 大上洋行洋服部 始つて六時から八

旅館として の設立認可に接したので來る 自殺会式 局に申請中 はかねて當 新京燈

天野產婆

▲野球、明大動新京、午後四回、公會室 回、公會室 四、公會室

附)

ノニ

が行はれた際

改装成 京都旅

婦院落成まで取敢ず吉野町一

大 裳 部

永金時、永西瓜、氷しるこ等 服部ではかなてより百圓以下は夏季二ヶ月間惣菜部を休業 思ひ切つた値下青陽ビルの惣菜の店みづやで フーダイネー

てが満洲圏在住の難民族と同場ですべ、治外狭権の一部撤脱が ることなくやつて來たのでも一切それ以下に値下げを り方を

▲共同法院地鎮祭、午後一時 ・安民廣場 ・安民商場 ・安民商 ・安 ・安民商 ・安民商 ・安民商 ・安 ・安民商 ・安 ・安 ・安 ・安 ・

土星會洋濤展第一日、公會

丁目の常脳医院内

▲野球、明大野新京、午後四本野球、明大野新京、午後四本

世ック選手(大阪) 一 ビック選手(大阪) 一 ビック選手(大阪) ○一今晩の主なる演繹放送

た共同法院は總經費七十五萬 とした なほ同建物は康徳五 される。なほ同建物は康徳五 される。なほ同建物は康徳五 される。なほ同建物は康徳五 される。なほ同建物は康徳五 でも月三十日迄に竣工の豫定 大會を行ふ
大會を行ふ
一、期日 七月十二日
一、期日 七月十二日
一、期日 七月十二日
一、朝日 七月十二日
一、曾費 大人二圓、子供歸
高音年後七時十分。

へ移七時十分 大人二圓、子供輔 一一(パメ所持の方は 一一・鍵)

相澤三郎元中佐

電話ニー

富士町四ノ二八呼出(3)―三〇七九

F

宅路往齡開港

対り二 日午後 九時遠 捕した 若機及び部分品を敷回に亘っ で成り、トット 判り二 日午後 九時遠 捕した を横げてあると聴き込んだ徳 を横げるると聴き込んだ徳 を横げるのととが 明郎 一日午後 九時遠 捕した 店員 悪事露れる 山東省生れ新京鐵嶺屯向陽街 山東省生れ新京鐵嶺屯向陽街 の他へ賢却したことを

の刑を執

產

(2)

三〇八六番

電話開通

4 日時三十分後に死去化り候間此段御通知に代へり候間此段御通知に代へ 道告仕り候 連告仕り候 通常に死去仕

山程積まれてある イボウー行

"海王"題向。學、界世声關地 師質。珠真 £

凌 宅齡、往齡、隨時

派出婦にも應じます

親戚一同

公會堂で開催されたがヴァイヤック・テイボウの獨奏會はヤック・テイボウの獨奏會は

奉天へ向ふ

特質一等以下五等まで但し人員に應じ質品の増減し人員に應じ質品の増減し人員に應じ質品の増減を申込期日 十一日まで(ミ、ズ人用の者は十日までに申込みのこと)コーニニカニーのでに申込みのこととの申込みを受済に(三一三三九三)を乗野商店(三一三二九二)を乗野商店(三一三二九一)と乗野商店(三一三二九九)を乗野商店(三一三二九九)を乗野商店(三一三二九一)と

の雅致高貴、洒脱等天來の神の透明さ、柔味 機細性、精緒

観相と易斷

ンに於ては世界一と稱す 堂で開催されたがヴァイ

に提琴曲が要求す

南北 八勝延期 南北八勝延期 南北流

●高級酒 松

竹

中

元

+

西村洋行の

推薦品を

冷て飲むお

酒

生

酒

ルに勝る風味

答品

は

全市配達致しますと 創業明治四十年

電馬易爾所電3 11011回番 第町小學校前田中ビル 急ぎ來れよ!! 緑が来れよ!! 線が来れよ!! 日本ク

過ぎ閉會した、なほテイボウ 各曲の終るごとに破れるやう な拍手の嵐をあびて午後九時

カ

ルピ

ス

51

一同

●離銘酒

冠軍鹿宗鹿梅鹿

******** ニニニニ五六四 パ六パパ000

松

白

進白菊黑

第三回釣魚大會



一時時 一分 金七時二十五分

創業明治四十年新京唯一 **昌**質本位 潍の生子 酒のだし



蜂ブドー ロツ 酒ブ 三米二・七〇 ダイヤ街

●御一根大集騎答係金上致します

京軍對明大 日の野 午後四時十分(西公園球場) 球戰(四日)

ことになれば死亡して仕舞ぶれは若し全然解棄期を責らぬ 共同法

是一致し、とり取べず現在福見一致し、とり取べず現在福見一致し、とり取べず現在福息し、到底見込みない重盟者に中間制的に内地へ発達するに生間制的に内地へ発達する。こと、し間四十分開發した。

西山社會主事を始め各層社 事、福祉委員、朝鮮人民會長 は 東海古代署長、開野 西見廟 ちの意見が述べられ結局總領 で開催された、出席者は 擦救満方法について各方面か 極 で開催された、出席者は 擦救満方法について各方面か 極 の意見が述べられ結局總領 へ を要する患 操 を要する患 操 を要する患 操 を要する患 操

けふの協議會で決定

いものは内地へ送還 があり付追及すると彼女は物があり付追及すると彼女は物があり付追及すると彼女は物があり付追及すると彼女は物があり付追及すると彼女は物があり付えて、 を表現の夫の愛を試めすばわざと店員の前で蔵引し際際に対して、 を表現すは最近毎日の如く別れる!朝鮮に輝れ!と虐待されるので自分が泥練呼ばはりなんでやつた。 と夫瓊子は最近毎日の如く別れるので自分が泥練呼ばはりなんでも夫は自分を選んでやった。 たのであつた たのであつた たのであつた 院地鎮祭

新京における各法院を**綜合し**

町1共 岡主催 で来る十二日

日本全國上映

氏が鋭意脚色中であつたがこ 場膜の家」と決定村上徳三郎 地膜の家」と決定村上徳三郎

を行ふが、高田の関熱せる演技と鐵壁の製作スタッフは長谷川伸氏原作の名調子を映畵に依つて再現するものと期待

執 友丁土 引 亥 曜

B 四月七 B六十月五

「掏模の家」改り

で東和商事の手により日本全 り東京で公開するのを皮切り 東京で公開するのを皮切り 東京で公開するのを皮切り で東和商事の手により日本全

のまゝ裏書する市川右太衛門の白熟の演技を教けて、 を新八郎の特別應援も張り を新八郎の特別を強いてある。 をが助演してある。 をが助演してある。 をが助演してある。 をがある。 をはなんけかいく である。 をはないました。 をがいまれている。 をがいまれている。 をがいまれている。 をがいまれている。 といってものが、 といってものが、 といっている。 といる。 といる。

人院手術隨時

病

田島

興安大路四一九 (東田ビル裏)

um (2) 二六0 七巻

٤

煉特五坎

製寸

四寸火鉢用

五郎の

近く配役決定を使つて本讀み 中原虚意監督、撮影は森井都 体育は富士スタデオといふ名 なルテを以つて着手する筈で

京都の

七月封切庫 ・ 一類な明君 - トーキッチ上 ・ のお盆映 離と指定された ・ のを別主演に関続北見徳子 ・ のが坂本徳島書 - 小笠原章二 ・ 小笠原章二 ・ 小笠原章二 ・ 一板して企業率キャストを形 ・ 本後二郎を ・ 本の ・ 本の

長春座名高大會 「白き處女地」「職夜の女」「老 讀 大歩持名者に限り階上階下共に二本券持名者に限り階上階下共に二 者

券 者

十銭引き(但大人一人一枚限り)本券持拿者に限り階上階下共に一 引筹

長春座名畵大會 上映中有刻のて登る旺んなり」上映中有刻 新京日日新聞社

五条三天. 何本御利用を!

絶對信用のできる 编殿兄弟商會 電話(3)二四八二零

□社交ダンス個人教授□

疊

大都心者

教

別が投

ヶ月十五個

椒質者のけ振寺は小衣助

新京東二條通り五二番地

●關東軍司令部御用達● 電話。六四七四沓









◆…カナダの未開地別和のため佛閣四から移住して来ため佛閣四から移住して、社園である、アメリカものなどに較べて異つてゐる断は、に対した世界の物語りの常識をなつてゐる所は、アメリカものなどに数べて異つてゐる所述なる。 ・ 事の情報として描いたもの生活があらした世界の物語りなって必るを探して必必を表して敬虔なかいつたる。 ・ 市職とはかいつたが、本の生活がある。 ・ 市職とはかいつたが、本の情報となってある。 ・ 市職とはかいつたものなどの生活を表されておる。 ・ 市職とはかいつたものものものものものものものものものとである。



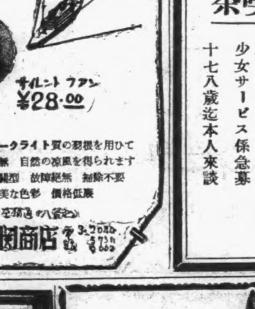
を一貫して流れてゐるが、 を一貫して流れてゐるが、 を一貫して流れてゐるが、 をさまたげる。ところであらうことは他者のがあるであらうことは想像出ないの段間が観客の感情には、一般に近づき難い距りを見出してもって、此の世界のかるであらうことは世るるのであらうことは想はせるるが、部分のはは世るのがある。 想はせるるが、部分いかとほししなが、一般に近づき難いには部分である。 をさまたげる。本ところである。 をさまたげる。外に近づき難い距りを見出してもかれてある。 をさまたげる。外に近づき難い距りを見出してもかれてある。 をさまたげる。外に近づきかれてある。 をさまたげる。本といの精神を ものがある。 をさまたが、部分いから原因 してもる。 をさまたげる。 をさまないである。 をさまたがる。 をさまないである。 をさまないのも、。 のから原因

を簡潔に片づけて了ってる。 を簡潔に片づけて了ってる。 を簡潔に片づけて了ってる。 を簡潔に片づけて了ってる。 を簡潔に片づけて了ってる。 を簡潔に片づけて了ってる。 をできる此の土地では何ものの大きな精神が明瞭に伸ってるた、母親ローラをあきらめててる。 をするところなく教の土地では何ものない。 をするところなく教の上地では何ものない。 をするところなく教の上地では何ものない。 をするところなく教のともと言べやする決意を をするところなく教のと言べやが、最初のない。 をするところなく教のと言べいのといる。 をするところなく教のと言べいの心境のとしたと言なが時でなった。 をするところなくな教のと言葉を をするところなくながいことにあるためない。 を対してるためない。 を対してるためない。 を対してるためない。 を示すると言べやれる。 を記述ののためには効果 上めノたをヤた生の來が時つ々信葉ふのれ境をてな最果の

賣信用 ŧ









\$XX0XX0XX0XX0XXX 開始。は、悪いのない。 新京最初の試み……六月二 年記念祭……開催 ※本のでは、一年では、一年では、一年では、10年の日本のでは、10年の日本では、10年の日本では、10年の日本のでは、10年の日



ル階下(反對個人ロコリ)

大日電線



一億個全額拂込濟

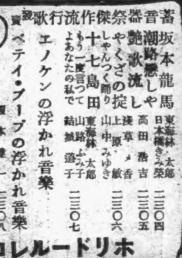






古野町四丁目 (資宴機前)

電話3二五〇六番



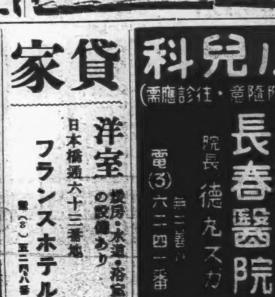
5廿五 電念



音 立 本 金 億二千九百十五 になった。







公布された都邑計畫法(二)

た經路が想起される。

高

本社丹江電話交換所新築に伴 本電氣設備新設工事 ・電氣設備新設工事 ・ 場 路 局

福福通商條約の成立と共に大 豆問題は果然世界各國の電大 関心事となつたが、最近端洲 特産中央會への情報に使れば 米國政府では大豆工業を國營 化しその振興に努力してゐる 即ち米國最務省は今回イリノ

テ

ープルフア

1

東洋絹

花

米國國營事業ミして 大豆工業を振興

本社/ 1°4×0° 0 滿洲 電機 1°4×0° 0 滿洲 電機 1°4×0° 0 滿洲 電機

ス大學に試験所

一、ステイーブル・ファイベー は使用上の練監補正の爲めに機構染色等の技術上の研究に整力することで官民の意見が一致したに官民の意見が一致したに官民の意見が一致したに官民の意見が一致したの前後二日間の官民協議會により今後とるべき我が羊毛對策の動向は大體決定されたものといふことが出來る 緬羊敗良場 國立て赤峰に

【本天國通】常地關係筋への 情報によれば、實業部では赤 改良場を設置するに決定、既 に土地買收に着手したが、十 一月末迄には羊舎の建設種羊 の購入を終り正式開場の選び 正至る複様である

て右試験所の現在の事業目的 工業試験所を設置した。而し工業試験所を設置した。而して

朝鮮窒素

でも

石炭液化着手

工場は興南に建設す

●大連保線區 ・三十八個八十五銭 特命・三十八個八十五銭 特命・三十八個八十五銭

▲奉天中學校水泳ブール新設工事

豫告工事

本帝 上海標金 ・ 100°000 ・ 100°000 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 100°00 ・ 1

★大阪棉糸 大月限 10m*20 17m*30 九月限 10m*20 110m*20 九月限 110m*20 110m*20 十月限 110m*20 110m*20 十月限 110m*30 110m*20 11月限 110m*30 110m*30 11月取 110m*30 110m*30 111m*30 110m*30 110m*30 111m*30 110m*30 110m*30 111m*30 110m*30 110m*30 111m*30 110m*30 110m*30 110m*30 111m*30 110m*30 1

三日

金銀市

銀青▲土九七▲ペオプ▲ 月月月月▲ン1日本 新筋力限限限市ゴム1印

117.11





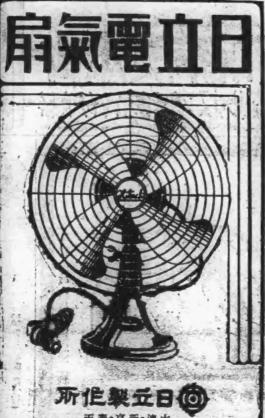


















滿洲國

大豆の規格統 の手で

「大阪関通」燃料国策に重監を置く石灰液化工業は長岡済 素も石炭液化工業は長岡済 素も石炭液化にメタートを切り、第一期計畫年州萬順の内 整督り五萬順の工場建設を急 ぎ極秘裡に機械設置其他を神 月型鋼所に設設した、操業は 明年四月頃になるべく工場建 設は興南と決定、溝鎖同様内 設は興南と決定、溝鎖同様向 行って 石炭四順よりガソリン一順を 注出するものでその建設費を る。

本新京伊通河線第四災害復憲工事 落札 一萬二千三百五十四 1==80.00 森 本 组 1==80.00 京城阿川組 1==80.00 京城阿川組 1==80.00 京城阿川組 1==80.00 京城阿川組 1=80.00 京城阿川組 決足工事 土建ニュー ス

羊毛代用品獎勵の

國民運動起す

常局及羊毛業者の意見一致

3 百六十五圓五十錢 東禮 協會錄工所 東禮 協會錄工所 東禮 協會錄工所 スター2

第二回回页页页

四百二十圓水 上 衛奉东天

吉林土建界 水工事 水工事 上建界 日

一〇二人 本 一回要

第三回

不商店所

新京

出

張

所

帝都

第二回賣

第一回賣

第三回曹

第三回電

現 中本 物 ●高安高引 大 連

爲替

▲上

海馬 本向 本向

各地特產市況

南部写五四三番新京商業学校背前

航空工藥助要議 航空機乘員臺成費

七九〇

三政策

遞信省の

東京國通】内務省では二日 第三回豫算省議を閉き三日の 策に就き深更まで協議を續行 した結果左の三政策を提出す る事に最後決定を見た・ の恒久化(十二年度豫算六

要國策確立

閣議

各省の提案政策

電力統制案を続り果然緊張

氏は二日雲南省主席吳忠信氏 ると共に第七軍長慶磊氏に對一に南下の趨勢にあり、白崇禧 何處にあるやと詰聞電を發す十一の各師も之れに呼應一齊 し不當の壓迫を加ふる目的は三、六十、九十九、鑓遠の四 綏靖主任劉與氏宛省境に駐兵

し省境守に

も 現は 愈よ 緊張の 度を加 の の の を か

支間

でも效力疑

ぬ間のもの

綏寧地區

協定

大田大使

ス次長に

日本兵の

释放を要求

権々問題が 権々問題が

狀棒呈終る

生》

廣西省境に迫る

濠洲に大きな不安を奥

置

は

ガ

V

ツ

ŀ

に反し藻洲側の採りたる措 置はイギリス及び外國品の 添洲市場に於る競爭を不可 能ならしめたる日本織物制 限を目的としたに過ぎない 然し此際この濠洲政府の採 れる措置に就ては特に何等 の説明をしない

ソ聯

の日本漁船拿捕事件

當着對策協議

るか

と交渉するものとみられてゐ

初の方針を質徴すべくソ聯側かに釋放すべきであるからソ聯は速かに釋放すべきであるとの當

朝

井上洋水店

马服

12

獨支武器密約に關

我が對支三原則は 些かの變動もなら 1 川越大使、支那記者に語 【真二十百夕朝报》

西南問題には不

答問っれ大

てルーマニア代表チ、ユレス 盟總會席上イタリー新聞記者 盟總會席上イタリー新聞記者

商國憤慨す

伊紙の低劣な

リー政府と外交關係のの論調に極度に慣

率大の電話線の改築に約百

して目下

協商國代表

努め事なきを得たが、

業経費に充富する筈である、

コ外相は取然席を蹴つて立ち 変な話しイタリー新聞紙は何 本質は痛くイタリー新聞紙は何 本質は痛くイタリー新聞紙は何 本質は痛くイタリー新聞紙は何 ないます、ユレスコ外相の人身 反省 微妙複雜化 概しイタリ の を要求 を要求 を要求 を要求

んとする現状に

盟の門野軍九郎、井坂孝、

つたが、二日午後日本經濟聯 打開策に就き傾重考慮中であ

ろ門野重九郎氏が有力視され

米使節團の首席は現在のと

を中心に日米経濟關係の漸次。

不經濟調整の為

使節團派遣か

仍つて經濟聯盟側遣米使

と云ふに大體意見一致した。

折衝することゝなつたが、訪の構成に就て外務省との間に

3

日业

等他意なき! に努める旨の一般政情 目その他に

當局は日獨に

、右に對しドイッ 曾談を終つた、而して帝國政 「に即した方途發見 東亜の安足擁護者の責任より 「に即した方途發見 東亜の安足擁護者の責任より 「に即した方途發見 東亜の安足擁護者の責任より 「中国した方途發見 東亜の安足擁護者の責任より 「中国した方途發見 東亜の安定擁護者の責任より 「中国した方途發見 東亜の安定擁護者の責任より 「中国した方途發見 東亜の安定推議とも容赦なく 「中国した方途致見 東亜の安定推議者の責任より 「中国した方途致見 東亜の安定推議者の責任より 「中国した方途致見 東亜の安定推議者の責任より 「中国した方途致見 東亜の安定推議者の責任より 「中国した方途致見」 東亜の安定推議者の責任より

識の結果

反省を促す

作トッテイナ

央國主力艦代艦

一隻建造を發表

先立ち二隻の建造計畫を酸表 米國ご建艦競争開始さる 英國政府が以上の

島へ急行、水産組合物調査の爲二日夜東

2より邦船西丸、琴平四通1 去る廿六日ソ聯 和た事件は北洋漁業

電々會社では七月一日から八月末日まで民間株五十五萬株 に動し第二回拂込み(四分の一、十二圓五〇銭)を徴收して居るが同拂込み(四分の一、日本のの一、四分の一、日本の一、四分の一、日本の一、四十二萬本 寄々對策を協議中である

伸長しつゝある今日その成果。宣傳班を派遣すべく目下準備 院長住宅②三〇三一院長医博・古田志が

外性 所完 光線 和 和

北滅各地の電線改架な 画映弗萬

では六月中濱江地區各縣に て「良兵良民は即ち富國强

傳班を派遣 各縣に軍事宣

料長を動員して軍事講話

更に映畵宣傳班を派

に共實名の當本がれ此

奉天、新京、哈爾濱各

ンコ名のドーコレ

で色然天總

十八下階科場入

子信見伏。晃平松。

イデエ !!陣殺笑の意得 ハ日まで 明日の日曜 どうぞ

新京警察署管内に於て本年度 新京警察署管内に於て本年度 が大十五條に依る退去国、在留 地變更国を差出さざる図め令 が交付不能となり五月、六月 が交付不能となり五月、六月 がでは左記の百有餘名で、歌呼 では左記の百有餘名で、歌呼 では左記の百有餘名で、歌呼 のは左記の百有餘名で、歌呼 のは左記の百有餘名で、歌呼

(8

Egit.

を討つたのも、父の響話であるが、苦心惨憺話であるが、苦心惨憺

昭和

點呼令

狀交附不能

優れた傳統の現代的再生を示す

現実法の資

(=)

》社

で係續る化く犂時が人た化

(本) はなかつた。株は五郎汗は、友人に對す うなものはわれり、 (本) が (本) が (表) には (本) が (表) になるや機 (大) であったが、成 (大) にもに (本) が (表) にも思汗の名解が盛になるや機 (大) にも関が (大) にも関が (大) にも関が (大) にも関が (大) にも (大)

れた。それには関外変部大臣の歌

が蒙古人中の英傑で

古 図政府が新ロンドン係約に参 けより十六吋の方が有利古 図政府が新ロンドン係約に参 けより十六吋の方が有利 は今のところ言明出来ない、 お直ちに主力艦の備砲口徑を 意見である、現在米國海軍 に着手する豫定で、目下その 三隻のみで、他の十一年 は計事であるが、設計は来年 四吋、アーカンサーは十年 の時の決定にか入つてゐる。 米國主力艦二 備砲は十四吋か 十六时 原原
「「大阪関通」中華 「標準を設めする上、無電取締原でかけた海外放送無線通信 資南民國領事館でも神戸民國が短波無電に 規則違反で断乎検事局へ告愛されたが所管の大阪運信局 通牒を發してゐる模様があるは事件を軍大視し卅日以來岩 ので大阪運信局では本省に報能短波係主任が神戸民國總領 皆し南京政府より短波放送聴収の事館に出張、質相調査の上二 込む意向である

最盛期に入る

"

三日後場)

式 相

(短期

「京城支局」 盛夏の訪れと共に 版よビール需要の最盛期に 入つた、 昨年鮮内で消費されたビール總石量は五萬八千石で、 六月の六千三百二十七石

志り出たもの さらした傳統の、聖子子 を が修へられてゐ らはこの軍官學校に見たので がめた者とよく 方向へ向つての再生産をわれ が成るや、すぐ 年を指導して今日の栗績にま 活が を別動古台に領地 で引き上げて来たのには並々 た所を見でも如何 ならぬ勞苦があつたに違ひな め た所を見でも如何 ならぬ勞苦があつたに違ひな め た所を見でも如何 ならぬ勞苦があつたに違ひな め た所を見でも如何 ならぬ勞苦があったに違ひな め た所を見でも如何 ならぬ勞苦があったに違ひな め

これつつある 蒙古現代の であ

やう特に注意を乞ふと やう特に注意を乞ふと

斜病柳花· 般一科外 器處驗展入· 斜病門肛

一、內地杉小角類版圖

八島通り四〇

本

知ら

せ

活がまるで違ってる。 る、その相違をはつき めてその上に立つ蒙古 武人たちが育成されつ

浦賀ドック

新京記念公會堂に於て七月十二日第二日曜より

民の腹・相常に六萬七千万に六萬七千万

は 遺著が今回嗣子今田少佐によって上木されたため王道學會 では特に乞ひ此の稀代の遺者を永傳すべく佐藤贈賢氏その 譯註を施せる講本を印刷し入 回に頁り全部を講了すべく来る七月十二日第二日曜より記念公會堂において一般的に夏

・増養額 一千四百萬園 (三倍増養) ・増養方法 鷹株一株につ ・増養方法 鷹株一株につ 増養する事となつた、母養 たので大體左の要領によつ にので大體左の要領によっ で大體をの要領によっ

株主總會

は来る十三 開き賞期利益 た

五月限 五月限 五月限 五月限 五月限

手形交換高 (三日) 票 版中枚 ! 图4.人类图10

鮮魚小賣相場

听田静子 内藤千代 石井昌子

◆日本橋通元-(新8通用) ◆電話(3)5689番

廣告の御用命は 産婦人科 性病科

各地商品市況 引生 寄糸 後 12472

舞報大第御伺申

継の生一本

酒のだし

当質本位

サイダー

三ッ矢

を終っ。三九三妻(以安保) 三・五八八五 二・一義八一 五十嵐組



様な氣がしました。元 現達も心配が有るのだ 大に、こんな者が有る 大に、こんな者が有る であな者が有る

東三條構築 第三條構築

151

一者(約)二萬國三著 二千八百國 按著外出走馬數均分之 一者三萬子里百團 七千圓 五千六百團 一著二二萬人千國 四頭以下 七 F

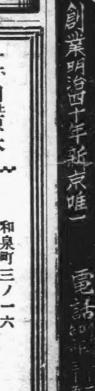
西一六九

滿洲帝國馬政局發行

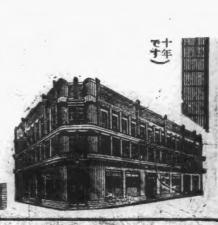
日額額 五萬 八月二日(研天の際代日底) 一張二國(一聯一個)

0 出賽馬每匹一箇新京賽馬場

WOMONO DE VIII 鎖痛・鎖部・新楽・モルタイ・ 製材品小賣 在庫豐富 紅、白點原木 和泉町三ノー六 / 植村製薬所







 \equiv

現御さんへ 現御さんへ 一職業婦人の親氏の御説に養し、新女性の一戸成します。實は深夜巡歩の際した。話は普通の事 生に三回會つた事のある女が、った女で) のきましたが単に「無 撃指、下劣な高が、その人なきでが、その時相當の好 たが、その人なきなが、 馬に、その男と家人がなれて行くらいと別る様な気をした。 と判る様な気を

上の機関係には一種 したものでする。 は、この機関係には一種 で自分の考へを でもつらきかな。またるつらきかな。またるつらきかな。またるつらきかな。またるつくづく痛

引机 1:4.16 01: 6:1

宣計率大造兵所

| 山本部||新した山本瓦房店守計匪に出動した山本瓦房店守局|| 去る五月下旬

送 學 則

满洲白

率タク観情

使用郵便局名勝日附印の

四、五兩日 (安東國迪)延期中の第十四 「安東國迪」延期中の第十四 「大大の本日に亘り安東中央公園に 「大大の本日に亘り安東中央公園に 「大大の本日に亘り安東中央公園に 「大大の本日、本東の各地より 「大大の本」となった。 「大大の本日、本東の各地より 「大大の本」となった。 「大大の本」となった。 「大大の本」となった。 「大大の本」となった。 「大大の本」となった。 「大大の本」となった。 「大大の本」となった。 「本本」となった。 「本本、 「本本、

優等でな生なはにも本代人2目 毛が左できるは一、器がに下で 生に、人2後3多指導に複さは話録大は して地でく賞が興い時にすり

增設

農家解清の向上に活動する時 として農業指導に を公布の農会が政府機關の側 を会員る筈である 生を見る筈である。 生を見る筈である。 生を見る筈である。 生を見る筈である。 生を見る筈である。 生を見る筈である。 生を見る筈である。 を公布の農会の施し、よ は省下に を公布の農会の施 として農業指導に はる下に を公布の農会の施

藩陽警察廳 藩陽警察廳

領事分館裏に

圖們神社

古

暦年制が妥當鮮の年度代りは

「常天國通」落陽管察廳では 今回新しい試みとして、結馬 除を編成して、警備、交通整 となり・二日之が編成式を攀 となり・二日之が編成式を攀 となり・二日之が編成式を攀 となり・二日之が編成式を攀

四、五兩日

間の代作種子

整 従来と變るところがない。

「興門園通」 国門神社建立率 管會は第二次委員會を開催し 協議の結果、二萬國の工費を 以て領事分館裏山の一角七千 呼に第一期造營として神殿並 がに第一期造營として神殿並

本義とする痛淵関に於て多年大 直らしめ農業の設達を聞るは が表も緊急なるに鑑み、吉林省 を作會議に於ては六月卅日、七月 一日の兩日に直る保甲特別工 で変が、一方に対しがつくに で変が、一方に対しがつくに で変が、一方に対しがつくに で変が、一方に対しがつくに で変が、一方に対しがつくに で変が、一方に対しがっても で変が、一方に対しがっても で変が、一方に対しがっても で変が、一方に対しがっても で変が、一方に対しがっても で変が、一方に で変が、一方

【ハイラル関連】 秘境設古の製地として知られ北端唯一の水太は七月一日より運轉を 新の設備を完備され居り温泉を可能に更都の清流に釣竿を垂れ或は百花の清流に釣竿を垂れ或は百花の前流に釣竿を垂れ或は百花の前流に釣竿を垂れる前花畑の散策

F

0

進展

月牡丹江より一〇キロ内の 實測に着手し、翌年三月五日 終了を見た、而して全属間を 四工區に

奉天造兵所法

四日附公布さる

配あるに外達金得兵

麥員長以下任命

宣動若は本状に依る命令に理事又は監事の行為が法令理事又は監事の行為が法令 選兵所の理事長。副理事長 歌政部大臣は株式會社率天 決議を取消することを得

を命じ株式會社奉天造兵所 第二十一條 政府は設立委員 り之を施行す り之を施行す 財 則

改正農會條令

近く公布を見ん

農業文省工作の一大進捗!

間バスルン

温泉

較電池

林線は密山まで輝かしき本餐 産み落した岡佳線は、息もつ 監 が減緩建設員が新線建設の数を 業を開始するに至つた 山脈の離工事を急いで居たの も、昨日今日の様な氣がする 路建設工事は質に目覺ましき 進移振りを見せ、遂に七月一ロスせる岡們起勘二四八キロ 整造・ がは密典に入り、濱級線と夕 る。 で居たのの地路に東部間島地方を縦 省。 で展表の の地路に東部間島地方を縦 省。 で展表の の地路に東部間島地方を縦 省。 で展表の で展表の の地路に東部間島地方を縦 省。 で展表の で展表の の地路に東部間島地方を縦 省。

を 南部 開生線終端線牡丹江を起て を 南部 開生線終端線 を 本語 を 本語 を 本語 を 本語 を と 本語 を 本語 を と 本語 を 本語 を 本語 を と 本語 を 本語 を と と 本語 を と と 本語 を と 本語 を と と 本語

老松嶺山脈の難工事を見る 路である、斯くてこの鐵路は ・ 地より大同二年二月八日これ ・ が建設を減鐵に委託し、鐵道 を高さが、福洲國政府は右の見 ・ が建設を減鐵に委託し、鐵道 を高され、電影に ・ が建設を減緩に委託し、鐵道 行寫眞闡を作製、これによてこれが遂行に當らしめ、一

一分割 し、夫々請負人 か割 し、夫々請負人 か割 し、夫々請負人 対出 一〇キャ全線の路線工事は 第二十二月六日前子、康徳元年十一月 年四月十五日林口に到前、藤徳三年十一月 大日より假營業を開始するに 変工を遂げたので、七月 十日より假營業を開始するに

し軍政部大臣の認可 し軍政部大臣の認可 としむ としむ 遭遇しなかつたが敷度匪賊にを発食取る関もなく毎日匪賊を発食取る関もなく毎日匪賊を発食取る関もなく毎日匪賊

作一成になった。

金融組合五月成績

7

111

電路川二九〇巻

造 生花 花 新京村田出張所

・れては歌行流



坂 扱 郷 切 の保険は信用厚く

御申込は

製館かられ (御注文は石油罐二罐より)ビール突出し用各種

振替奉七

COK BYCKEYOOK BYCK BYOK BYOK BYCK BYCKBYOKBYCK

治

命

製造卸問屋

切·迅

んでも揃ふ弊店

0

御仕入なら

京城東子縣武奉丁奉天霞町三十三番地奉天霞町三十三番地

En MOCENTO NOC STATE NOCKS XXX



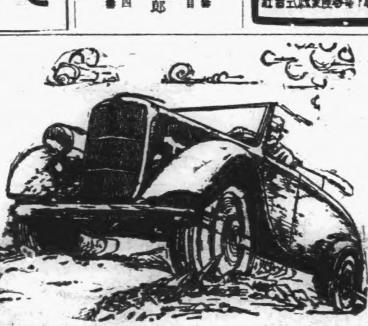
女の青春

なつて一日全後五時半日出度く凱旋した課頭には日滿官民多數の出迎あり除員の下車整役を代表して凱旋敷迎の挨拶を進べ山本部隊長の答辭ありて酸は直ちに瓦房店神社に凱佐敷理の機告を行び三ヶ月が れちやいやヨ 太郎くづし 備兵ぶし て嫌よ 行 小 明 勝 太郎 (宝三大三) のときわ EF 歌

るまで 店 店 梅ヶ枝町四丁目 者に一三七六三書 将和梅六〇四 古田彌一郎

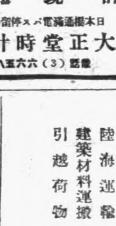


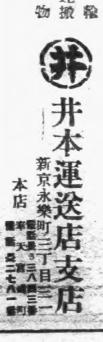
日一月每期學新









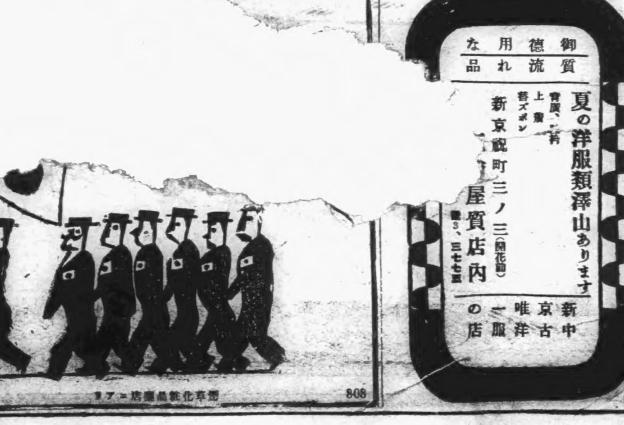




XXX B XXX 随主近来 文房具

走らな染・

赤七染



新京中學校北滿旅行

日

(三年)

伊藤博美·記

白く見えた、黄昏頃我々を染物見るたりの土は天然賈達が龍泉あたりの土は天然賈達が

大器頭小器頭

りかけて一分間ほど火から下ろし、

カメラ 交換数辺 カメラ 交換数辺

にある。二合のバスが往復してある。一合のバスが往復してある。 一合のバスが往復してある。 域内では野菜の栽培

一は鉄に覆れ、他方は砂が露出してみた。前郭族の縁には を通で今然花江から設電を計 を通の要臨に當り、北瀬平海 で発達の要臨に當り、北瀬平海 を通の要臨に當り、北瀬平海 を通の要臨に當り、北瀬平海 を通の要臨に當り、北瀬平海 に近らく行くと地平線のかな た遙か 遠く一條の河が 見え

る、解前の食堂で晩餐後少し 病院、チチハル領專館分館が 病院、チチハル領專館分館が

地味のやせた平原の上に建つせた列車は白城子に到着した

日の大麻の営か農地の連載であった。 議州事件で著名な萬 変山を過ぎると丘の起伏はい つのまたか遠ざかつて展漠と

である罪についた、罪の前に のある罪についた、罪の前に が記屋根に関続

へと進む。小合隆附近は

わけです。

痩せる原因?

は、米國人である氏獨特の健は、米國人である氏獨特の健は、米國人である氏獨特の健康法ですが、つまり食塊を入れる方法です、そして食道に入れる方法です、そして食べてれる方法です。そして食べてある間はほかのことを考へないで、噛むことばかりに考へをむけ、口でも噛み頭でもかせといふ風にするのです。彼

大・二〇 無象通報 (大 ・二〇 無象通報 (大 ・二〇 無象通報 (大 ・二〇 料理獻立 ・大・四〇 経濟市況 (大 ・四〇 終庭講座 ・大・四〇 経濟市況 (大

一一・一四 國内放送 一一・四五 国内放送 一一・四五 国内放送 一一・四五 国内放送 一一・四五 国内放送 一一・四五 国内放送

図画

三浦

一・二〇ニュースの大講座の大学を

之

フライパを

し、煙が

壁、胡

を布巾で拭きとりをふりつけ、メリをふりつけ、メリにバタを少々煮滓にバタを少々煮滓いたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば

火力を弱ならば鰊をな

(滅語)

|朝|

ふ

番

四日(土瀬日)

五元四 二〇五 〇〇〇 っ千二

コギモの新聞(大速) 二ユース (英語)

家 3五一七五番へ

東一條橋詰

新京西公園園藝

根守任

躟

本國風の練料理 (特料) (五人前) 原五尾、メリケン粉大匙五杯、鹽、バタ、別に酢味を利かせたトマ・ケテヤップ大匙十杯(代用トマトソース)

③KHHO漏海商事

中央通九

大和通り六

金

融・

七.00

一、三五 經濟市沿 經濟市沿 家庭メ

現(東京) 現(東京)

國獨立祭記念日米交換放送

場唱獅面

百数

笑效

ほんとか痩せる方法はないかっ

一十歳にかけて

肥る

痩せるも 肥るも

嚙み方一つです 一眞の榮養もこゝから出る一

り、艘せたりする原因は頗る簡単明しての中年婦人に最も多いやらです。 眞理は常に平凡!

ヶ月で體重が六貫もへり、目 で彼はこれを實行以來僅か四 個職めといつた話にヒントを 防が進々沈着す

が、咀嚼によつに

は

傳染病 の蔓る時

例にたがはず彼は大兵肥滿體 がた結果グランドストウンが いた結果グランドストウンが かた結果グランドストウンが かたが保険に加入せ をして断られあわてふため いた結果グランドストウンが かったが保険に加入せ

にた結果グランドス のたは十三貫を越え、 でしたが保險 が保険

正響樂團

(東京)

に注意しながら手に注意しながら手をで、 を體が甚だしく形でする。 をで、大分を吸水性のようで、水分を吸水性の間に縮って、大分を吸水性のようで、大分を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を吸水性のようで、大力を受から、大力を使いるが、大力を使いるというでは、大力を使いるがあります。

が記 (大連) な可能 (大連)

事門不二 大·氣堂

たる

電話三—二四二五

合は左を追加するは左を追加する。

行ふが宜しいでせ

傳染病が流行する季節です、| 染します、それだけ汚物をい夏はいろ / ~の消化器系統の | これらの病氣は口を通じて傳 必要な家庭消毒薬

野菜 がよい、又井戸水にはその水量の五百分の一水にはその水量の五百分の一位を投じ的瓶でよくかきまはし消費します、フォルマリンは一升の銀骨を二〇乃至二五は一升の銀骨を二〇乃至二五

トでよくで、 大変乳は、製石灰一〇パーセント 大変乳は、製石灰一〇パーセント 大変乳は、製石灰一〇パーセント 大変乳は、製石灰一〇パーセント を表せ、吐瀉物その他に の量の四分の一以上を が関します。クロール なはクロール石灰すなは 上でよくで、 とを力五パーセントを力五パーセントを力五パー

であれば石鹸の作用が鈍つて であれば石鹸の作用が鈍つて であれば石鹸の作用が鈍つて

色の丈夫さ 部分を水でしめし の强弱の度合

あるから

大八零古流指南名和先生 一大八零古流指南名和先生 一大・電楽 白椒寮 受附 松 原 看板は

新兴社

お

あんま 一陽堂療院 億話8五八二九番 新京永樂町三ノー

萩本電話上

入船町一-

室町四丁目(三井物屋前) を融印で を融印で を融印で をいなアタ 電話

女子 事務員募集職艦書 大人古物店 電(全)四四つ上 ンは

新京東三條通五四

並に1等米 条 無順壽司米 を



男太を開はず 東三馬路無線電豪下 東三馬路無線電豪下

帳簿專門

三省堂製木所

本食へ 本食へ

神谷教経事修院 教師 神谷茅恵 生徒 夢 集 音別タイプ 綜合教授 未集町一丁目(ダイヤ街) 金屋商舎内 金屋商舎内 金屋商舎内 ・大乗町一丁目(ダイヤ街) タイピスト

トラック三十五年数合

賣自動車

(並泊宿易簡)

裁縫教授

住立 雲間部 御教授人

番四六二五 (3) 話 覺

同種品中の最優秀品であります鑑別法の試験を全部合格した

インピレスは左の殺蟲剤の良否

●切符發賣所 ・ 一切符發賣所 ・ 一部電通報往復切費往汽車二 ・ 日本の一リストビュー ・ 一年の一年の一リストビュー ・ 一年の一年の一リストビュー ・ 一年の一年の一月大日正午 ・ 一年の一年の一月大日正午 ・ 一日本の一月大日正午 ・ 一日本の一月大日正午 ・ 一日本の一月大日正午 ・ 一日本の一月大日正午

高橋治療院

費州 丸 七月大日正午 大 変 知 七月十二日 は るびん丸 (午前十時大連世紀) 一 定 完 の こ 元 日 大 変 知 七月十一日日 大 変 知 七月十一日日 大 変 知 七月十一日日 大 変 知 七月十一日日 は るびん丸 (午前十時大連世紀) В В В В В В В В В В



從を許さざる所であります各地品質の適確優秀なるは他品の追を實驗の上發賣せるものなれば 験による落下率死亡率 其他ピー 有名薬店雑貨店に販賣す

魏 代 理 店

●専一場で、通用期間ラケ月

汚芳

引火點 試驗 ノ程度其他 - グラデー氏法 試驗





方が標準體重に近くなつたの して何をしても成績が良くな して何をしても成績が良くな で既に滿腹感を覺えるもので 食物を必要とするに、その場 信徳が千五百カロリー特の 食物に発と無駄がなく、極め で既に滿腹感を覺えるもので で既に滿腹感を覺えるもので で既に滿腹感を覺えるもので

またこの咀嚼法によれば反對 りたまけは

て、

その理由は

10

軍で効果のある複色 質なされてゐる標で出來ス

べる 割合に 簡

色を防ぐ

必要通家庭で用ひ はち ク の前に色止め端として酸、明際、色の落ち易いものは洗濯の際、色の落ち易いものは洗濯の

一番完全な色止 > 布を蒸せばと

かい 上傳染病器具など的 普 十時以上は必要です。また衣 育審します。結核の場合は二 育審します。結核の場合は二

無は挿入れにから 無は挿入れた事

その下に

深內

元(3)四、五二八番

生火備

殺蟲劑

板

時大国の十

高峯であるピカッにまで至つ現代の世界高増の事實上の最後の偉大な酷は後に立體脈に義って繼承され構成派を生み義の偉大な酷は後に立體脈に養いを生みとつて継承され構成派を生み

お酒は速

銘

000

鹽

谷

壽石

土風會第一向展特陳書(公會堂開催中)

土星會々員 白

海

存在をなしてゐる。

とに光輝ある

ルに

就て

正

検が書き並べて り出した。それ り出した。それ を開き、 し出し

ではほう。一寸やるともう離すのが辛いつてわけかい!」 見やつて、それから何も言は だと言ふ。魏は書づた。 あた。よ

下書は出掛けやうと思ったのだが、新線々の言葉を聴たのだが、新線々の言葉を聴いるとどうも動きたぐない無持が超つて来た。親は言つた。「君行かなくたつて好いんだよ、ぼくが君の代理で話してよ、ぼくが君の代理で話してあるんだ。全はあとで君が携

「ほんとの事を言ふとれ、ぼ なつたのについてはさ、貰つ た放費つてものはただ名目だ けのものなんだよ、足りはし ないんだ、それに上海に着い ないんだ、それに上海に着い からねーそれでだ、五科君に からねーそれでだ、五科君に

「機械はもつと買ひ足さなく いかどうかを見て又買ふのさ いかどうかを見て又買ふのさ

舌

御用命は電話

(3)

11100#

「そりやわかつてるよ、ただしたものぢやない、ま物がさう大したものぢやない、まあ二萬が所でせらね、さらすると千だか、あんたが今度来られただか、あんたが今度来られたのは数十萬元の機械を買ふ用あしたちはみんな伸好しですせんか? 大口の注文を私の方に寄越して、大口のを他人に廻したりしちゃいけませんぜ。」

で、これは外関から値段を定めて来るんだかられ、高い安いはこつちでどうにもならんのだよ」と答へた。さう答へ作り、上衣を潜た。そこへ陶子のよったものです。 段は安くして賞ひたい」

▼頒布開始

▼募集期間

面用贈呈。

自分でぜひ行かなくつち

官場現形記

造型教義の再檢討と探究を架高壇は、大いなるセザンヌの

た事である。そして、ピカッ 及それを関続する一群の書家 の仕事がすでにして杯胎しつ 、ある次の時代の、豫想され 大な刺戯を興へ、土台となり つゝある靨で更に重 要であ

は、この作家は唯一つの救ひを福 の道である。 以上の文章は途中からで判 以上の文章は途中からで判 は、いと思ふが要するにこ った。 それは所詮藝術 をのである、何故なら

マヘイデルペッグ大學は 動力 前順大郎、同入澤華吉兩博 前州日東京帝大名譽教授高 東大學總長小山松吉 主、法政大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉 東大學總長小山松吉

土耳古行進曲

マーゼキング リカイル ハアモ解指揮

(十二十十年シーペン)

美麗アルバ

第一回頒布レコ 第一回頒布レコ

先生御執筆

使用原盤 全

部未發賣

一唯 須

文 日 見

を造つたのである、何故ならを造つたのである、何故なら、尚且生きれる様に、この作家(嘉れる事はない。倒れる事はない。倒れる事はない。倒れる事はない。倒れる事はない。倒れる。 島崎の「夜明け前」に對する文學の精進。芥川の生命を とうが、僕の考へによれば一 大學の鬼―に似た魂とは大ぶ 大だたりがある線に思へる。 同書(文學の眺望)の中で 学野はこんな事を云つてゐる (前略)作者は既に『頭を 打ち碎いて倒れる』ところは がある線に思へる。

思はず長くなつたが僕は友 人のうち文學に精進する人達 に願ふ事は少なくとも文學を やるなら、文學の鬼になる氣 でやつてほしいと思ふ。 生活にあらゆる氣力をなく した僕は文學を語るも心苦し ききはみであるがふ於族中一。

は文學の鬼になって死んだ一人として小林多喜二を上げたい後の作品には文學の鬼と生活を一元化しての氣魄はらかがへなかったでの氣魄はらかがへなかったとは文學の鬼にならうとした。 と荷進した事はたしかだ。生な文學の鬼の氣魄をたたかひた。 とらうとした。 不幸にして築地署で倒れたが、彼は少なく、も口れる時 は文學の鬼になつて居れであ

> る音樂常識の家 通じて誰かでは表に 大樂歌の代表に 大樂歌の代表に 大樂歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌の代表に 大学歌ので



前場留停スパ電構通橋本日 店計時堂正大 申 八五六六 (3) 話章



り、近代繪書の祖父である彼り、近代繪書の祖父である彼 るラ者彼あ

新潟を與へてゐた。 世間的な名際に對して豪策な は間的な名のである。 である」ーと反つてサロンのである」ーと反ってサロンのである」ーと反ってサロンである。 アカデミックな書家などには誰でもが成り得るのだどには誰でもが成り得るのだされただけ、自知か響薄者か、 こものは、自知か響薄者か、 である」ーと反ってサロンの 大分長くなつたがもう少し生活と文學の一元化について書きたいと思ふ。 葛西や嘉村の はつきり判らない) 或は中野 はつきり判らない) 或は中野 しなぜだか 僕は芥川だとか しなぜだか 僕は芥川や島崎のどこかにひ たんで居るであらうが―文學

生は何にもならない、死ねと云 ・ は何にもならない、死ねと云 ・ 最近では牧野信一の様に『碩 を打ち砕く事』は或程度出来 ・ 動い事である、しかしそれを 種越して生きると云ふ事は至 離な事であらう。

型の何によらず、勝れた作品の の何によらず、勝れた作品の の大個些に誇る・ダヴンチ ミ がロアンゼロ、ラフアエロの 諸作にも劣らぬ眞摯な宗教的 に作成された聖書の が同で下に作成された聖書の が同で下に作成された聖書の が同で下に作成された聖書の 居る。 を興へて、現代世界書 ではゆる『文鑑復與以 ではゆる『文鑑復與以 ではゆる『文鑑復與以 ではいる『文鑑復以ば ではいいである。 では、現代世界書 では、現代世界書 像大な暗示と貢献を現代の新な法則への深い追求と開明けた法則への深い追求と開明けた法則への深い追求と開明けた法則への深い追求と開明けた法則へのである。 では他の有無に拘つてゐたのである、惜しむべくもその真摯な信仰心は働き得ずしてその真摯ないは、 では他の有無に拘つてゐたのである。 失したのでは何 とれけ右記の では何

どうぞ御負品に

電

中途退撃し書業にて

悪く、邀補にと 的にその價値を の三瓦匠の作品

エス

タツ

322. E 7

・セザンヌ

I、ポール・セザンヌ なすべきである。

牛敷名参りました 3 を設ける。

で慢迫り香い良の味





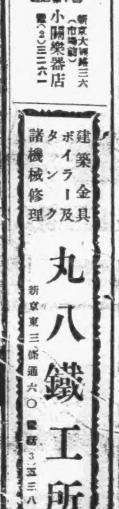
日本 よく遊べ 元氣の素となる ルチシンあり \$6 2





社會式除 光質發遊觀 會 南 器 音 著 本 日





いっしょ という

るレ薬レき

コード

各帝國大學病

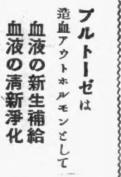
院指定

常





見十六円二 瓶小 ルーコヤアグ 曳十三円四 瓶大 ゼートルブ



消化された蛋白資源としてに伴ふ貧血に卓効があり又の二大作用を司り屡々結核 であります。と有し結核の如き消耗性疾を有し結核の如き消耗性疾

大の變調を來たすものである。故にこの消費と頗る重大であり從つて全身の代謝機能に多結核は毒素の排出に依て全身に影響を蒙ると 症機轉を調整し喀痰を液化して之を減じ漸次方結核菌の活動を阻止し氣道粘膜の分泌及炎 して體重を増加し全身の抵抗力を弱化する一 陳代謝を活潑にして貧血を治療し食慾を増進 を兼備した特効素を服用して血液の循環と新 健康に導くべきである コールブルトーゼの如き全身療法と局所療法 されたるエネルギーを補給するためにグアヤ

を以て大な

極力養生せねばならぬのである。に反し肋膜炎を輕視するに以上の如く一般の方は結核 然も結核は急性に な養生如何に依ては不治 で養生如何に依ては不治 で養生如何に依ては不治 で養生如何に依ては不治

お療力 は其病竈が皇 は其病竈が皇 然不振 麻痩等

キナブルト ヨードブルト 「呼吸器病の養生法」 アルゼンブルトーゼ 単味ブル 金三圓二十錢金三圓二十錢

ールを抱合せるものです。に特効ある可溶性グアヤコブルトーゼに古來より結核

グアヤコールブルト

商吉友

支那器港ライリクピン証候権 月二日美坂横濱を起路としての情勢であるが顕際汽船は七の情勢であるが顕際汽船は七

で臨んだが七回まで電楽宮崎で臨んだが七回まで電楽宮崎で臨んだが七回朋大の攻撃に入るかに関へたが七回朋大の攻撃に入るかに対合は互角に進められるかに

○ 谷中間二級打に小袖一等○ 本中間二級打に小袖一等○ 本中間二級打に小袖一等

が、木体七十頭以下は輪立崗 | 関東州内は六朝、木体は下職員の加俸改正を行つた | 東寧世側の順で、新宮電業會配では本七月から参事 | の廿二個を最高に富額電票の | であります。

州内は六朝、本体七十四十割の順で、新京は九朝

電業會社

濠洲航路開設

同盟 るや果然護打を誇るその本領 で臨んだが七回明大の攻撃に入る・一国、電業)高山四球に出で、大野電業戦は三日午後五時二 下連横八本の安打を浴びせて (明治) 倫木、稲田、小畑(編) 對三で明大大勝した、閉眼七 に無死海過となる。恒川登 で臨んだが七回まで電業宮崎 電 つりょ に強りベストメンバー 大量九監を獲得、結局十一ム (明治) 偏木交前、大量九監を獲得、結局十一ム (明治) 偏木交前、大量九監を獲得、結局十一ム (明治) 偏木交前、大量九監を獲得、結局十一ム (明治) 編末三龍で三者凡退 で臨んだが七回まで電業宮崎 電 つりょ 「電業一回一監を先取して で臨んだが七回まで電業宮崎 電 つり (明治) 岩本二元、杉浦三 (明治) 岩本三面(電業)高山四球に出で 岩本 (明治) 岩本

今朝三笠小學校で

防火避難の演習

夏季中室町校等でも實施せん

監察委員會で決定すること、 によりの関都ホテルに於る 大時よりの関都ホテルに於る 大時よりの関都ホテルに於る

学休夏季時間を利用して『鱧

巨豪•男女

様 では橋國監督の總指揮によりを實施する豫定である。 一次 では橋國監督の總指揮によりを實施する豫定である。

軍旗祭

明大の巨砲火を吐き

電業軍潰え終ゆ

十一人三の懸隔的スコアリ

來る十

七日より晴天三日間

壺前空地で興行

八相撲來る

東京大相撲乗込みが近づいた 京神社境東京大相撲乗込みが近づいた 京神社境

誠である

さうである

國婦新設

四分會の

創立委員會終了

教導隊第一團

贈つて喜びを分つ事となつた 訪問、傷病兵に對し敵利品を 同職では睾天日滿衛戍病院を

、殺害事件を不起訴とす

午前を終り、午後は各縣族管に各應關係の指示注意あつてに各應關係の指示注意あつて

内情況報告に大で産見の開陳 あり、最後に一般緊務の充實 に就き質問あり午後四時開會 した

▲日程、十五、十六、十七、 十、十二の五日間午後一時 より、西公園 グラウンド (豫定)にて

一二十九才、三十才一三十 九才、四十才以上、女子の 五班に分ち各部局より各競 技毎に選手二名づ、出場す るものとす

各位に告ぐ

治外法權撤廢に際し

赤痢患者

各部局對抗大會のスケジ

▲出場者をその能力によって ・ 本のでは、 ・ 本のでは、 ・ 本部を ・ 本語を ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本

く進めてゐるが

覧甸安東間の

匪襲を受く

質何警察隊が急追中

務局長、首席養務指導官會

(北平三日愛國通) 英國兵士の邦人殺害事件に關し去月廿四日以來昨二日まで行はれた。 一四日以來昨二日まで行はれた。 一四日以來昨二日まで行はれた。 一四日以來昨二日まで行はれた。 一世に完立る本三日の英國法 一世に午前十時半より開廷され 一世に午前十時半より開廷され

判決に關し

花輪書記官不満の意を表明

使館に到りコーアン書記官と | に對し不満の意を表すると共官は本日午前十一時半英國大 | 佐々木殺害事件の不起訴宣言【北平三日發國通》花輪書記 | 會見し本日の英國法廷に於る

豊臺事件解決す

し九千噸型三隻を以て月一回 ので當分は支那諸継に寄逃し第一回の配船は八月一日開始 濠間の大量收貨は期待し得ねに異常の衝動を興へてゐる の定期航海を行ふ筈だが、日

支那側りが要求全部を承認

人紛糾を招來せん

ない ・ 神を待機せんとの意躍とみち ・ はなるに日機関係好

冒に就てルと随する講演。 実 陶村少佐のル國防婦人會の趣

夫人出席 と、山内電々・建築の野部 展東局、電々、電楽の野部 展東局、電々、電楽の野部 大人以下 展東の野部

下の洋服は作らないとい

に重苦しいものであら

電架打得安徽签三四失 明大打得安徽签三四失 高高山 4 2 0 0 0 1 0 4 恒川 4 2 1 0 1 0 1 1 1 3 極本 4 0 0 1 0 0 0 0 8 村上 5 1 1 0 0 0 0 1

り坂田二進、駿く二瓶石賞吉田一、二間安打に北澤還を打に杉浦還り北澤二進、安打に北澤還

そりベットを抜け出で逃走し、こつ発酵のたのを見すまし、こつ

交職競技士早大陸上軍を迎へ

廿六日午後西公園グラウンド 人學生十五銭である で 中職に罹つてゐたゝめ入 この中職に罹つてゐたゝめ入 で 中職に罹つてゐたゝめ入

り新京署、價酬署では三日当へて逃げたらしく国困でによって逃げたらしく国困でによっている。 B、ヘロ吸飲所を捜索 り新京署、領管署では

体育講習會

五十嵐ピル されなかつた

群演選征の途に上つた早稻田 大學陸上競技部員一行十五名 大學陸上競技部員一行十五名 大學陸上競技部員一行十五名 大學陸上競技部員一行十五名 共同主催の下に廿六日午後一 共同主催の下に廿六日午後一 共同主催の下に廿六日午後一 大学藤と上競技大會を開催することになつた競技種目は左

市内八島通り五十嵐組主五十 風優體氏は今回新發路陽東流 長司令都隣地に三階建の五十 風ピルを建設することになり 十三萬三千鵬、外面纏タイル 十三萬三千鵬、外面纏タイル 野りの近代建築で一階に就湯 で一階には新湯 けふ地鎭祭

▲トラッタ 百、四百、千五 百、五千、高障碍、四百、 千六百兩線走 千六百兩線走

滿洲國本有週間

砲丸投、

於る滿洲國官吏の保健體育の於る滿洲國管育聯盟では、多季に

本に親しみの薄い順都人士の 唯一の銷夏地帶西公園内は毎 で、選月池の貸ボート 入れてみると白菊町プ

もならず大いに困つてゐる
ならず大いに困つてゐる 番外賞會開 御外 当賞級費時 の B 三一金七

大日

街

日(土曜日)午後大時(時間贈行)

金

(食事附き)

三連勝賞、役滿貫賞

り拾五等迄でニキー賞

賞、平

小野一舶・宮崎三振(電業)小池二遺を打(電業)小池二遺を打(電業)小池二遺を打(電業)が谷の二角失を が発した中堅手三最に悪い池生遺、杉谷一拳に悪い地に関いた。 物価な赤飼病患者がへっを裏 京室町一丁目十三番地ノ四下 京室町一丁目十三番地ノ四下 京室町一丁目十三番地ノ四下 日赤痢に罹つて満鎌贅院分院 ヘロを募ふて脱院

種會合が敷回開かれるもの

そこには苦心の経営が存するのであるが顧客各位にとつ

ものから提供することとなつた百個から、四十八個へ、

ては大きなサアウィスたり得るものと信ずる

前のやり方を断乎として改新し、

新京社員會聯合會

青年部長、次長

役員會

祖文部主任 石

支票人柚木駒治郎

產科婦人科增設

在胸外科女響松井鐵子

式の運びとなるまでには此の
るところあつた尚新分會結成

級明年度社債一

株主總會で承認

■五分五厘祉債は借替■

海鐵社員會新京聯合會第五回 進出張所會讓室で開催過較大 連に於て開催された第十五回 野課員會の決議により決定を 見た修豪部を覈止して新に青 決る

国丁二町祝

を青年部長に次長に上野與一協議し前修鉴部長稲川利一氏 出席のため三日午後出發した 笠井電光、商業學校中島

賃 五十五週、六十

潭月池の惡臭

らポート乗りが大第に滅つて ならぬ悪臭を放つて質無い てゐる、原因について探りを ポート保は大あくびをしてる も無用に癒じ切れぬ忙しさを した、公園事務所では怒つ 他に洗れ込むのでボ

石田武亥氏再選 天商議會頭

城、百五十圓以上は更に一個以上百四十九圓迄は右の一個 開催、正副會順、會計委員等で改選後第一回の難員總會をで改選後第一回の難員總會を ▲祝町二丁目五番地神谷剛之 國防献金二つ

同は申合せて一日のお小使鏡助氏方裁縫専修院内練習生一

て新設四分會の第一回創立委 一年後一時半より軍人會能に於

東亞與業株式會社類亞灣和街一〇一

随入時間 會葬御禮 親戚 一同 新文/イヤ何老長町一大朝日第 一二二二大大寺 一二二二大大寺 一二二二大大寺 一二二二大大寺

補州生活の合理化が常面の栗要事とされこの大陸に続け 新京日本橋通大上祥行注文洋服部ではかねてより百圓以 近の非常時重職が强い緊張を一般に要求してゐる際相當 であると考へられる、洋服常用者に荷はされる負擔は最 も衣服の問題は手近かでしかも大きな部分を占めるもの る適切な生活の新しい設計が特望されてゐる、その中で 本人のすべてが満洲國在住の諸民族と同様な生活條件に であるが、今や治外法権の一部撤廢が断行され、在滿日 際も一切それ以下に値下げをすることなくやつて來たの 選入り込むことになったこの記念すべき機會に於いて從 のであるそして一昨々年機器圏に於いて減俸が行ほれた として來たも

●処かば焼ト丼● **食道樂**

絵を生じて大野門

味養で立つ|

大經路康寶市場前 婦 婦

產

派出婦にも應じます宅診、往診、隨時

が後には、何かしら。 (他に動する

したのだ。そいつこそ、今後の事

出版して、曖昧神々子の背景を詳

欧水彩観楽がいを開いた。

は彼女の子供によって、まだ生では彼女の子供によって、まだ生では彼女の子供によって、まだ生で

しばらくしてから、やつとこの

れ、舵を苦しめるための手段としれ、舵を苦しめるための手段とし

「そして、その子供といふのは

有心中國高神 會 益加養力 元 基加養功 市造異國龍綱

称除血液循環と瘀血療法

ヴェ

已合有

命に

読

古醫學から新殺見(四六判五十頁)

思導刑事が息をはずませながら

件の最本人なんだ。」

呪咀がある。 須藤子殿しも、『暗暗

そのそれは強い過去の人間に重ひか思はれない。――とすると、かか思はれない。――とすると、か

版からいいた。

「最子だよるの女奇術師の動

と思ひ出したのは、あのか々子

その自動車の中には、不思っなた面持ちで乗つてゐた。

和事といま一人もの不思いない時 道化師器のヘンリー標準と、精 道化師器のヘンリー標準と、精

一个陰つて来て、この他に殴うし、

ー三十年前にをかしたその配が

技

酒・煙草の毒や病毒から血液が粘ると

下

雨

Sic Sic

水

小探しい。 (葉上映) 茶林

を関連の解は、いかにも悩ました。 マと事件の題をつかんだのだ。」 だ原治だけが、いらくしたやり た興味を窓の外に投てるため 既つて検事の話を聞いてるる。たく物思はしげだつた。他の三人は 特ずに際際感にある 蘇タ子の練り

から経可なかへ向いて、突風のやしいてるっ 本たらにあの女の直線を続つてゐたしては、館は自分の出世にあくせくしてゐた。その結果、あの可意樹は自分の出世にあくせくしてゐた。その結果、あの可意樹 確に他が聴かつたー 一寸間をおいて、実験事はまた しかし、あの意味、他はほん

つてある気、一張の自助車が赤坂 郷太郎と様代の二人が、野田ケ

をあんな風にしたのけ

ふる血音に響きをサッパリ、血行を調へれば

動脈硬化を起し血壓が高くなり のほせ、耳鳴、肩凝らや 動悸、息切れが嵩します

安眠も出來、眞から丈夫に

フルチ錠創製者 (前東京讀言原病院)

のない、彼のどの念死を指くのでありますが、こんなゾットする惨害をもたらすのは大抵 京都性の神解を持てはなくて、治つた智の極幸が何年かの後、酒たばこの事や肉食者など は」となり可能の修善を惹起します。では斯うした病気の原因ともなる「ふる血」はどう と絡み合って懸賞した潜在体に台帯素、即ち古が帰事でいふてふる血」に根です場合が大動 多いのであります。御婦人方ですと月經の幾血や産後の穢血が體毒に絡んでやはり「ふる なり、早泉不盛か

動脈硬化とは? したちサダベリするか。

と一般の人はすぐ考べますが、私からなる……殿の展示から知れな。等なる……殿の展示から知れな。等なる……殿の展示から知れな。等なる……殿の展示からいで触れそうになる。 は血液が粘つて循環がスラく

近頃人々が感じて常常な社会をかないーー之が主た限成なのです

頭重、耳鳴、肩凝りに惱んだ

高血壓が今では

葛

度いたような変節です。

其の歴過

標準文は中風、監査の時で れる結果となるのです。 吉原病院 にその治病の一耽として本書の書にして快速に導くか、悩める方夫 ٤

の症状を自然と恍惚に導きます。へ黒便の出なくなる頃にはお悩み 辛甚の至りと存じます。 心研究の勝物たる新順島野へ下郷

をからする



八回丁一町菜莲京新番八四九五(3)話電



古

報着 中枢東京 六五三〇八二武所京線(8)二五八四番・二六三八

ろしくなり早速ブルチ錠を送つて一で非常に嬉しく(俊略)ますので、矢張り電の陰かと大恐、出來、峭壁は常慶経下つて居るのを使があまりにも適合して居り、衆に、夜はグッスリと観光歌歌も ▽配館が稀く吹出に苦しみ眠れぬ人(権毒。神經衰働)、▽配館が稀く吹出に苦しみ眠れぬ人(権毒。神經衰争人)、▽確實、耳鳴、順展手足の矩れる人(中異、神経館) 無代進星 第4章 親 t刀 印寧

景品付

止

澶

整

鵬

糖衣

黒錠





土力

車の耐には何故かしら、沈福な色 製造の父の清水老板事だつた。 懐

るなかった。その侵略の下から既

死神はもうあの無い機械をして一復夢をしようとしてゐるのだ。」

原因が「よる間」による間行の不な事は良く御存知のくせに共の

高血壓の危險

間に、見建へるほども年取つたやならず、その頃は、この十数日の

明言るのですか?」

によってるた。 『その誰々子といふ

りと父のかを被返った。その解は

ないである。とづくものである事を知る はいまって少いようです。 はいまって少いように心壁の高い人の感覚が無があだしく後まって で明なように心壁の高いまで明なように心壁の高い。

「それでは」ふいに譲治かく

こに思はれるのだった。

とうの音に死んでしまったさうだ

肩凝り、

足の痺れ

立屋み、原屋、耳鳴、成ひは動

「ふる血」おろしに

トテモ好評

「い」や、藤水子は死んでる。

て配格となり、其の血行を妨げ其

中に書いてある御社意事項と自分

が殴く、強く別まれてゐた。のみ







命



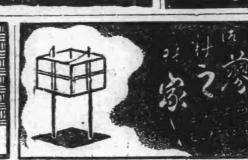
髙製菓謹製 御愛用下さい

中コ過痢般 多急下 ラ症慢痢 物腸慢性皷 中チ性カ腸 毒ブ便タ酸 等ス秘ル酵 食疫胃急

錠 白 - #-00=#-0000# 6666 店商吉友澤藤戲









-ゲン見本 讀 本 - ゲン匙

